

令和8年7月

no.
125

よめばやさしくなる
しやきょうの
こうほうし



福祉くまの

令和7年度事業報告



熊野市社会福祉協議会の一部事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

令和7年度事業報告

厳しい経営環境の中で

近年、社会福祉法人を取り巻く経営環境は大きく変化しています。長引く物価高騰による運営経費の増加に加え、福祉分野全体で深刻な人材不足が続いており、人材の確保と定着は大きな課題となっています。全国では人手不足を要因とした事業の縮小や経営悪化も見られ、地域福祉を支える基盤そのものが揺らぎかねない状況です。熊野市社会福祉協議会においても、人材の確保が年々難しくなり、職員一人ひとりの負担が増加するなど、厳しい経営環境への対応が求められました。

全職員で描いた5年間の道筋

こうした状況を乗り越え、将来にわたって地域福祉を支え続けるため、本会では全職員が参画し、「熊野市社会福祉協議会中期経営計画」を策定しました。この計画は、今後5年間の方向性を示すものであり、「みんなのくらしにいつしようにけんめい」を合言葉に、地域福祉の推進と持続可能な組織運営の実現を目指しています。計画策定にあたっては、各部署が現状の課題や将来への危機感を共有しながら意見を出し合い、法人全体で進むべき方向性を整理しました。

地域の声を力に変えて

法人運営では、法改正への対応として経理規程等の見直しを行い、事務処理の効率化と適正化を進めました。また、各種助成金や補助制度を積極的に活用し、新たな財源の確保につなげることができました。地域福祉事業では、地区社会福祉協議会単位で地区懇談会を開催し、住民の皆さまと直接対話する機会を増やしたことで、地域ごとの課題やニーズをより具体的に把握することができました。その成果として新たな事業の構築や行政からの受託事業費の増額につながるなど、地域の声を形にする取り組みを進めることができました。

組織の一体感が生んだ変化

福祉サービス事業では、多職種や関係機関との連携を強化するとともに、外部研修への参加を通じて職員の専門性向上に努めました。また、利用者やご家族の思いに寄り添ったサービス提供を心掛けることで、新規利用者の確保にもつなげることができました。さらに、中期経営計画を全職員参加で策定したことにより、部署を越えた意見交換や協議が活発となり、職員同士の相互理解と組織全体の一体感が高まりました。

3期ぶりの黒字決算とこれから

こうした取り組みの積み重ねにより、事業の強化だけでなく、適正な人員配置や経費の見直し、業務効率化も着実に進みました。その結果、全国的に厳しい経営環境が続く中、本会は令和7年度決算において3期ぶりとなる黒字決算を達成することができました。この成果は、中期経営計画の策定を通じて全職員が課題を共有し、それぞれの立場で改善に取り組んだ結果であり、役職員一人丸となった経営改革の成果といえます。

今後も熊野市社会福祉協議会は、「みんなのくらしにいつしようにけんめい」を合言葉に、持続可能な経営基盤の確立と地域福祉のさらなる充実を目指し、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組んでまいります。

みんなのくらしに
いつしようにけんめい



令和7年度決算報告

単位 円

科目	決算額
会費、寄付金収入	1,052,000
補助金、受託金収入	62,110,843
事業収入	11,473,523
負担金収入	10,354,823
介護保険、障がい福祉サービス事業収入	295,223,523
その他の収入	5,100,204
収入計	385,314,916

科目	決算額
人件費支出	295,537,607
事業費支出	24,023,734
事務費支出	41,611,922
助成金支出	7,294,083
負担金支出	8,352,760
その他支出	6,791,657
支出計	383,611,763

差引 1,703,153



あなたのヤル気応援します

初任者研修 (旧ヘルパー2級) 受講料全額助成!

くわしくはコチラ→





やりました。

紀南地域的障がい者（児）

生活交流会

紀宝町福祉センター

5/21

当初はバーベキューを予定していましたが、悪天候の予報となり急遽屋内でポッチャ大会・クイズ大会となりました。バーベキューをとて楽しみにしていたので「残念やね」の声が沢山聞こえましたが、いざポッチャ大会が始まると優勝目指して大盛り上がりでした。



熊野市生活支援体制整備事業

男性のためのそば打ち教室 保健福祉センター

5/27

介護予防を目的として全国的に広まっている「集いの場」。

サロンであったり、趣味活動の場であったりや熊野市内でも多くの「集いの場」がありますが、男性が集まる場所が少ないとの声をよく聞きます。そこで、社協では男性が興味を持って参加しやすい教室を企画し、今年度第1回目として、くまのそば打ち愛好会にご協力いただいて「男性のためのそば打ち教室」を開催し11名の参加がありました。



そば打ちは初めての方が多く、難しいところもあったようですが、生地をこねて包丁で切るまでを体験していただきました。今後も男性のための楽しい教室を開催する予定です。興味のある方はぜひご参加ください。

6/12

障がい者社会参加支援事業 ふらったー

保健福祉センター

2名の参加と少し寂しいスタートになりましたが、例年通りまずは、今年度の活動計画を、真剣に考えてみました。その後空き時間でレクリエーションを行いました。こちらも全力で楽しみました。



連載

みんなのくらしにやくだつおはなし

みんなのくらしに
いっしょけんめい



家族に介護や支援が必要かも...
と思ったら

「最近、物忘れが増えた」
「二人での外出が心配」
「家事や入浴に手助けが必要になってきた」
など、ご家族の様子で気になることはありませんか。

介護保険サービスを利用するためには、まず「要介護認定」の申請が必要です。申請は熊野市地域包括支援センターや、紀南介護保険広域連合で行うことができます。

認定を受けると、ケアマネジャーなどの専門職と相談しながら、ヘルパーやデイサービス、福祉用具の利用など、一人ひとりの状況に合ったサービスを利用できます。

また、「まだ介護や支援が必要かどうかわからない」という場合でも、地域包括支援センターでは相談を受け付けています。早めの相談が、ご本人やご家族の安心につながります。

介護や福祉のことで気になることがあれば、一人で悩まず、まずは地域包括支援センターや社会福祉協議会にご相談ください。相談することが、安心への第一歩です。

ボランティアのことなら

3 熊野市ボランティアセンター

☎ 519-4324 熊野市井戸町 1150 番地 でんわ：0597-89-5000 F A X：0597-89-3068

ねっちょうしょうに
きをつけてね♡



無料法律相談

- ◆開設 日 7月21日(火)
8月18日(火)
- ◆相談員 片山眞洋 弁護士
熊野市保健福祉センター
- ◆会場 熊野市保健福祉センター
13時から(一人15分)
- ◆相談内容 民事全般
(相続、離婚、雇用、他)
- ◆予 約 前日の15時まで
当 地域福祉係 前田

リサイクル情報

介護、育児用品の「ゆずりたいし」
または「ゆずってほしい」をつ
なぎます。遠慮なくお問い合わせくだ
さい。◆担当 地域福祉係 井上



リサイクルの
ページ



ホームヘルパー募集中!

- ◆募集職員
登録ヘルパー(非常勤)
- ◇必要資格
訪問介護員2級もしくは、介護職員初任者
研修修了者、普通自動車免許
親切丁寧に指導しますので、未経験でも
OK。初回は必ず同行します。
- ◆申し込み、問合せ
総務課 ☎0597 89 5000
お問い合わせお待ちしております!

まちのがんばっている人に
感謝の気持ちを

くまの「ボランティアありがとう」賞
推薦受付中!

現在推薦を絶賛受付中です。地域を元気づけ
たり、ボランティア活動を通じて地域に貢
献している方を推薦しませんか? 受付期間は4月
から12月末までです。みなさんの推薦をお待ちし
ています。

くまの「ボランティアありがとう」賞って?
地道な活動を通じて地域(住民)を元気づ
けてくれる人を顕彰します。お互いが称え認
めあうことで、地域の幸福度と福祉の向上を
図ります。日頃からの「ありがとう」の気持
ちをご本人に届けてみませんか?

◆担当 地域福祉課

詳しくは
コチラ↓



いつも
ありがとう。



あたらしく
あしよく
いんか

地域の皆様のお役に立てるよう、一つ
ひとつ学びながら精一杯頑張ります。
福祉分野は未経験ですが、笑顔と誠実
な対応を心がけ、少しでもお力になれるよ
う努めてまいります。よろしくお願いた
します。



福祉サービス事業課
井戸通所介護係
仲西 由晃

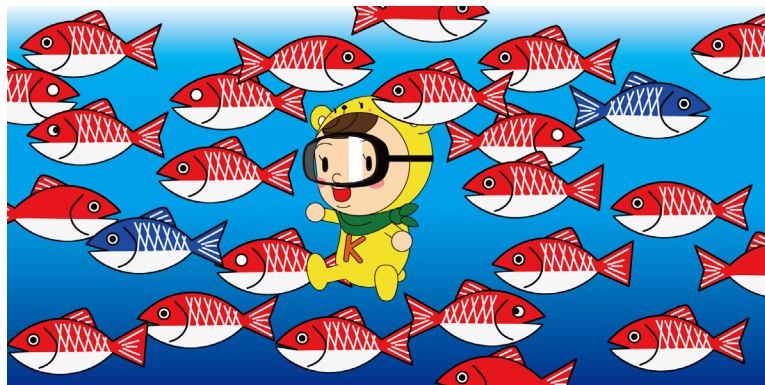
福祉の仕事に就くのは初めてで、まだ
分からないことも多いですが、一日
でも早く仕事を覚え、利用者様や地域の皆
様のお役に立てるよう頑張ります。よろし
くお願いします。



福祉サービス事業課
井戸通所介護係
山口 唯

ホンモノをさがせ!

下の絵の中からホンモノのサカナを探してね!
ホンモノのサカナは何匹いるかな? 数えてその数を答えてね!



答えがわかったら、ホーム
ページの「おたより」か
らメールで答えを書いた画像を
送るか、はがきに答えを書いて、
下記住所「ホンモノをさがせ!」
宛に送ってください。全問正解
者の中から抽選で3名の方に!
Amazonギフト券2,000円を
プレゼント! 応募期限 令和8
年7月27日(月)必着。

前回のこたえ



あとがき・・・子供の頃、七夕の短
冊にお願い事を書きました。野球選
手になりたい、歌手になりたいなど、
いわゆる頑張りますから見守って
てくださいねという感じだった気が
します▼この世はままならないこと
が多いです。良いこともあるけれど、
辛いことや苦しいことも沢山ありま
す。それを乗り越える毎日といって
も過言ではありません。▼年月は流
れ、今七夕さまにお願いするとした
ら何だろうなあと考えると、お金の
こと、仕事の事など、浮かぶのは日々
の暮らしの現実的なことばかり。し
かも完全なお願いだけ(笑)。乙姫
さま、彦星さまも苦笑いでしょうね。
(あきひと)

福祉くまの no.125
(2026年7月)



発行 社会福祉法人 熊野市社会福祉協議会
☎519-4324 三重県熊野市井戸町1150 番地
☎0597-89-5000 FAX 0597-89-3068



ホーム
ページ
は
ココ
から
4